

国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の概要

1 概要

(1) 設立経緯及び本部・組織

第一次世界大戦後、米国赤十字軍事評議会委員長ヘンリー・デビソンの主唱に基づき、1919年2月に、米、英、仏、伊、日の赤十字社による「五社委員会」が結成されました。この「五社委員会」を母体として、1919年5月に「赤十字社連盟」が成立し、1991年12月に「国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)」と改称しました。

本部はジュネーブ。世界各地の事務所総数は86(2021年12月末現在)。

(2) 活動内容

IFRCは、各国赤十字・赤新月社の連合体であり、自然災害・緊急災害時の被災者及び国内避難民等に対する救援活動を主な任務としています。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力を実施しています。

(3) IFRCの長

フランチェスコ・ロッカ会長(イタリア赤十字社社長)。2017年11月、会長に就任。任期は4年(現在2期目)。

(4) 職員数

2,501人(うち国際職員は657人)。邦人国際職員は5人(2021年12月末現在)。

2 我が国との関係

IFRCは、各国赤十字・赤新月社の国際連合体として人道支援活動に指導力を発揮。日本赤十字社を含む各国社との協力の下、被災者の救援に大きな役割を果たしています。我が国はこのようなIFRCと連携して世界各地で人道支援を実施しています。

3 各国の拠出状況 注:各国政府及び各国赤十字・赤新月社等の拠出額の合計

(単位:百万スイスフラン)

| | 2019年 | | | 2020年 | | | 2021年 | | |
|----------------------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|---------|-------|--------|
| | 国名 | 拠出額 | 拠出率 | 国名 | 拠出額 | 拠出率 | 国名 | 拠出額 | 拠出率 |
| 1 | 米国 | 60.8 | 21.1% | 米国 | 88.4 | 20.2% | 米国 | 109.8 | 30.4% |
| 2 | 英国 | 40.3 | 14.0% | 英国 | 85.9 | 19.6% | スイス | 42.5 | 11.8% |
| 3 | EC | 24.0 | 8.3% | オランダ | 39.4 | 9.0% | 英国 | 27.7 | 7.7% |
| 4 | スウェーデン | 20.3 | 7.0% | スイス | 30.5 | 7.0% | EC | 26.3 | 7.3% |
| 5 | オランダ | 16.9 | 5.9% | ドイツ | 26.9 | 6.1% | スウェーデン | 16.9 | 4.7% |
| 6 | ノルウェー | 16.4 | 5.7% | 日本 | 26.4 | 6.0% | オランダ | 16.2 | 4.5% |
| 7 | スイス | 16.3 | 5.7% | スウェーデン | 22.9 | 5.2% | 日本 | 15.9 | 4.4% |
| 8 | カナダ | 9.6 | 3.3% | カナダ | 20.9 | 4.8% | カナダ | 13.6 | 3.8% |
| 9 | オーストラリア | 7.8 | 2.7% | EC | 11.0 | 2.5% | イタリア | 12.5 | 3.5% |
| 10 | フィンランド | 7.5 | 2.6% | フィンランド | 9.8 | 2.2% | オーストラリア | 12.2 | 3.4% |
| 予算総額 | | 288.4 | 100.0% | | 438.6 | 100.0% | | 360.8 | 100.0% |
| 上記順位に日本が入っていない場合の順位等 | 13位 日本 | 5.7 | 2.0% | | | | | | |